

「中学校給食センター整備に関する基本的な考え方」
市民意見募集実施結果

2022年3月

町田市

「中学校給食センター整備に関する基本的な考え方」
市民意見募集実施結果

1 意見募集期間

2022年1月4日（火）から2022年1月24日（月）まで

2 意見募集の方法

①周知方法

- ・以下の施設での資料閲覧・配付
広聴課、市政情報課、保健給食課、各市民センター、木曾山崎連絡所、
各駅前連絡所（町田・鶴川・玉川学園・南町田）
- ・町田市ホームページへの資料掲載
- ・「広報まちだ」（2022年1月1日号）への掲載

②意見提出方法

- ・郵送、FAX、Eメール、窓口への持参のいずれかの方法で提出

3 寄せられたご意見の内訳

39名の方から、90件のご意見をいただきました。ご意見の内訳は以下のとおりです。

ご意見の概要とそれに対する市の考え方は次のとおりです。

なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は項目ごとに整理し、要約して掲載しています。

【項目別ご意見数】

(1)	全員給食・給食センター方式の導入について	12 件
(2)	給食センターの配置と食数について	7 件
(3)	めざす姿① 「魅力的で美味しい給食を中学生に届ける」について	43 件
(4)	めざす姿② 「地域とつながりあい 新しい価値を生み出しつづける」 について	17 件
(5)	給食センター整備の進め方について	8 件
(6)	その他給食センターに関連するご意見	3 件
	合 計	90 件

【ご意見と市の考え方】

(1) 全員給食・給食センター方式の導入について

〔中学校給食センター整備に関する基本的な考え方 P1に関すること〕

ご意見	市の考え方
◆全員給食が導入されるのは、良かったと思う。	<p>共働き家庭の増加など、昨今の家庭環境の変化や、食の多様化が加速する中、学校給食を通じて、子どもたちの「豊かな心」「健康な体」「生きる力」を育み、「食を正しく選び取れる力」をより強化することが重要であると考えております。</p> <p>中学校における「全員給食・給食センター方式」を早期に実施できるよう、取り組んでまいります。</p>
◆中学校給食導入により、子どもたちが将来暮らしを営んでいくための素地を作ることができる大切な教育になると思う。資料からは、私たち市民にとっても期待する給食センターとなっていることがわかった。	
◆今中学生でお弁当給食を注文している。 兄弟もいるので、是非、給食制にしてほしい。	
◆町田第一中学校は新設したが、自校による給食室が作られておらず、とても疑問を感じた。子どもの栄養と、健やかな成長、その先にある、高齢社会を支えてくれるであろう子ども達の身体や脳の健康を育んでいくには、中学校給食は欠かせないものだと思う。 大切な成長期に、栄養バランスの良い食事を、皆と揃って食べることの重要さをもっと考えて頂きたい。給食センターのみならず、自校での給食作りを賄えるくらいの意気込みで取り組んでほしい。	
◆堺中学校にも給食が導入すると知り、非常に有難い事だと思う。 小学校の給食に比べると、堺中学校の給食が美味しくないと言う人が多いらしく、毎日お弁当を作ると聞い	

<p>た。 自分があと数年したらしっかりと仕事をしたいと思っていたので、給食のおかげで心置きなく働けると感じた。</p>	
<p>◆家族の介助、育児などの負担がある家庭にとって、「給食」は子供の大切な栄養源であり、食育の場でもあり、なにより楽しみな時間になって欲しいと思う。 味や素材の質と共に、育ち盛りの年齢の子供にとって十分な量が行き渡るよう、かつ美味しい食事の時間を楽しめるよう配慮してほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆今の小学校の給食も、手の込んだメニューをバリエーション豊富に作ってくれているので、子供も美味しいと言っており、感謝している。 中学校給食が始まると、今通っているゆくのき学園では作る給食数が増えるかと思うが、今のまま美味しい給食を提供して頂きたい。</p>	<p>ゆくのき学園給食室から堺中学校への給食の提供を行っても、引き続き安全安心で美味しい給食を提供できるよう取り組んでまいります。</p>
<p>◆なによりも子どもたちが喜ぶ、楽しく食べられる給食を。そしてもちろん、安全なものと願っている。 アレルギー等のあるお子さんへの配慮もしてほしい。地元産のお野菜などを使えば農家さん(地元農業)のためにもプラスである。</p>	<p>給食で使用する食材については、原則国内産の食材を使用することや、低農薬の食材を使用することなど、市が定める食材の購入基準に則り、安全・安心な食材を使用してまいります。 また、地場産物についても、積極的に給食に活用してまいります。</p>
<p>◆『子どもたちの「豊かな心」「健康な体」「生きる力」を育み、「食を正しく選び取れる力」をより強化することが重要です』には同意する。しかしそのために全員給食、給食センターが必要という論理がわからない。</p>	<p>現行の選択制・ランチボックス形式による中学校給食の諸課題解決に向けて、町田市では2020年11月に町田市学校給食問題協議会に「新たな中学校給食の提供方式について」諮問し、2021年1月の答申におい</p>

<p>弁当を作るのが大変な方がいるのも理解するが、その方々のために一律に同じ給食をとらせるのは上記理念と相容れないのではと思う。</p>	<p>て、「成長期である中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供できる実現性の高い提供方式を選択する必要がある」として、「全員給食・食缶形式・市所有施設・給食センター方式」を進めるべきとの方向性が示されました。</p>
<p>◆現在の家庭弁当併用選択制の給食を支持し、改善を望む。 各校に給食設備を作る自校式給食より、委託一括製造～配送～処分のセンター式が、コストメリットも大きく、手間も省けるが、併用選択制のデメリットは解消されず、食事の自由度まで奪う事にならないか。 委託一括製造～配送～処分のセンター式が、コストメリットも大きく、手間も省けますが、併用選択制のデメリットは解消されず、食事の自由度まで奪う事にならないか。</p>	<p>本市では、本答申に基づき、給食センター方式による全員給食を早期に実施すべきものと考えております。</p>
<p>◆中学生への BENTO 創りによる食の教育実現を要望する。 食べる食育から1歩進め、中学生には食事(BENTO_)を作る事、食の基本的なことを実践的に学ばせる機会を与えるべきと考える。義務教育を3年間で終える中学生時代に自分で BENTO_を創り、味わう事を通じ将来の衣食住の不可欠の技を身につける事は重要と思わないか。</p>	
<p>◆給食センター整備に関しては何も意見はないが、現状の材料を使うのであれば、全員給食ではなく選択制がよい。 健康上問題ないお子さんは良いが、そうでない子どももいる。現在よりも望ましい材料、例えば有機野菜や無農薬米、本物の調味料(遺伝子組み換えでない原材料で十分発酵させた</p>	<p>現行の選択制・ランチボックス形式による中学校給食の諸課題解決に向けて、2020年11月に町田市学校給食問題協議会に「新たな中学校給食の提供方式について」諮問し、2021年1月の答申において、「成長期である中学生全員にできる限り早期に温かい給食を提供できる実現性の高い提供方式を選択する必要がある」と</p>

もの) や白砂糖不使用などが使用されるのであれば、歓迎である。素材の味を知ることができ、大事な味覚も育てることができる。

して、「全員給食・食缶形式・市所有施設・給食センター方式」を進めるべきとの方向性が示されました。

本市では、本答申に基づき、給食センター方式による全員給食を早期に実施すべきものと考えています。

また、食物アレルギーがある、弁当を持参したいなどのご希望がある場合には、小学校と同様に、ご家庭からお弁当を持参いただくことができるようにする予定です。なお、給食で使用する食材については、原則国内産の食材を使用することや、低農薬の食材を使用することなど、市が定める食材の購入基準に則り、安全・安心な食材を使用してまいります。

(2) 給食センターの配置と食数について

[中学校給食センター整備に関する基本的な考え方 P2・3に関すること]

ご意見	市の考え方
<p>◆給食センターをつくるために金井テニスコートやゲートボールコートを取り壊し、様々な世代と交流できる素晴らしいコミュニティまで破壊してしまうのは残念である。全員給食と給食センター設置案の見直し、給食センター設置場所の再考、最終的に金井テニスコートに給食センターを設置することになったとしても、是非このコミュニティ存続のための救済措置(代替え地の提供等)の検討をお願いしたい。</p>	<p>鶴川地区における中学校給食センターの建設候補地は、限られた市有地の中から、教育委員会所管用地であり、各中学校への給食配送を滞りなく行える立地であることから、長年にわたって教育関係の施設建設を留保し「金井スポーツ広場」として活用されてきた中学校用地の一角が適地であると、市として判断したところです。また、旧忠生第六小学校については、住居系の用途地域であることや小学校及び学童保育クラブの至近で工場規模の抑制が必要であることなどから、鶴川エリアを含めた食数をまかなう規模の給食センターを建設することは難しいと考えております。</p>
<p>◆テニスの運動は、なくてはならない。金井のテニスコートがなくなると、運動をやめてしまう人が増えると思う、また、地域のコミュニティーとしても大変、貴重な存在であり、このまま、廃絶することのないように希望する。</p>	<p>金井スポーツ広場のグラウンドなど残る用地は、「新たな学校づくり」に伴う学校施設建設までの間、これまでと同様に広場管理運営委員会の皆様によるスポーツ広場としてご活用いただきたいと考えております。</p>
<p>◆中学校の給食センター式導入に反対する。【忠生6小廃校地跡】と、【金井スポーツ広場】は至近距離(2.9km、クルマで7分)に立地しており、給食製造、配送拠点として重複する。【忠生6小跡】と【東光寺調整池】に集約し、給食コストの削減、税の無駄使い回避に努力頂きたい。</p>	<p>なお、施設の整備・運営にあたっては、コストを抑えるために引き続き様々な工夫を検討してまいります。</p>
<p>◆金井スポーツ広場の計画では、給食センター設置後もグラウンド利用は継続とあるが、テニスコート・ゲートボールコート利用が出来なくなるのではないかと懸念する。 テニスコート・ゲートボールコート</p>	

<p>は、多数の市民が利用している。この施設のお陰で、スポーツによる健康増進、市民の間の交流が図られており、大変に貴重な施設と感謝している。</p> <p>徒歩で行けそうな他施設は極めて限られており、なくなることを心配している。このような施設が身近にあることで、町田市に住んで良かった、住み続けたいと思っている市民は少なくないと思う。</p> <p>給食センター設置が決定される場合は、現在の場所に近いところにテニスコート・ゲートボールコートを設置するよう検討をお願いしたい。</p>	
<p>◆中学校全員給食実施が町田市として重点的に取り組むべき重要な政策課題であることは認識しているが、テニス等の生涯スポーツの活動を通じて高齢者の健康維持、地域コミュニティの結束強化と活性化を図ることも重要な政策課題であり、可能な限り両立できる知恵を出すことが必要ではないか。テニスコートを閉鎖するのではなく、給食センター屋上へのコート設置や他給食センターへの統合など様々な方策を検討してもらえないか。</p>	
<p>◆『鶴川地区は時限的な施設となる』との記載があったが、時限がきた場合鶴川地区の中学校の給食はどのように対応するのか。現状の考えは。</p>	<p>鶴川地区の給食センターを設ける金井スポーツ広場は、新たな学校づくりに伴う新小学校の建設候補地であるため、給食センターは2035年度までの利用を予定しています。利用終了時点での生徒数や、新たな学校づくりの進捗などを踏まえ、改めて、給食センターの配置及びエリア設定</p>

	を再編する予定です。
<p>◆学校給食は想像より衛生管理がなされていて、栄養やバランスなど栄養士が考えており、安心して子どもたちに食べさせられるな、と思っている。共働きの家庭が増え、給食提供はありがたい。是非全員給食に向けて動いてほしい。</p> <p>ゆくのき学園の給食数が増えるにあたり、働く調理員の環境、給食の内容や質も悪くならないよう、市や栄養士と連携を高めて給食化に向けて進んでもらえると有難い。</p>	<p>ゆくのき学園給食室から堺中学校への給食の提供を行っても、引き続き安全安心で美味しい給食を提供できるように取り組んでまいります。</p>

(3) めざす姿①「魅力的で美味しい給食を中学生に届ける」について

[中学校給食センター整備に関する基本的な考え方 P4・5に関すること]

ご意見	市の考え方
<p>◆生徒も先生も、人間らしい昼食が取れると良い。食事時間的にも、内容的にも、世間一般の昼食と大きく乖離する様な給食では教育にも良くないのではないか。</p>	<p>給食センター方式では、「食缶形式」を採用するため、クラス内では、生徒自身で配膳し、食後はクラス毎にまとめて片付けることとなります。</p>
<p>◆現在中学校の給食時間が短くて、お弁当でも食べるのが精一杯なので、給食になったら、配膳、片付けなどの時間を取ってほしい。</p>	<p>これらの作業に加えて、しっかりと給食を味わえるための給食時間を確保できるよう、今後、調整してまいります。</p>
<p>◆現状 20 分未満と、給食時間が短すぎる。食べる時間を長くしてほしい。急いで食べるのは健康寿命にとってマイナス。</p>	
<p>◆給食時間が短すぎる。早食いは身体的にも良くないと思うし、給食を時間がなくて残すというのも勿体ないと思う。せめて 25 分くらいは食事の時間として割り当てられたらいい。</p>	
<p>◆給食時間が短いと聞いている。ゆっくり味わって頂くこと、よく噛んで余すことなく栄養として体に吸収できるよう、成長期の子どもたちにとって一番栄養バランスが大事な時期である。家庭では食べない食材でも、みんなにつられて食べてみる、という強制しない食の楽しみ、奥深さを感じる事のできる十分な食事、休憩時間を確保してほしい。</p>	
<p>◆現在は自宅から弁当持参の生徒が多いが、給食センター整備後は配膳の時間かかるため、給食と昼休みの時間の見直しが必要ではないか。</p>	

<p>◆食べる時間が短いと聞いている。 時間を長くしてほしい。</p>	
<p>◆つくし野中学校、南中学校向けの給食配送車ルートについて、見通しの悪い場所や住宅の近くを通るのではなく、道路幅の広い道路から通り、配送をしてほしい。</p>	<p>給食の納品・配送の際は、周辺地域への交通負荷ができる限り少なくなる配送ルートを設定する、車両出入りに細心の注意を払うなど、必要な安全対策を講じてまいります。</p>
<p>◆センターに出入りする車両の交通量が増加することが懸念される。 東光寺公園周辺を平日毎日トラックが狭い道路を行き来するのなら、一方通行のルート取りにして周知して欲しい。</p>	
<p>◆金井川沿いの道路など、歩道が無く、道幅が狭い上に、見通しが悪く、身の危険を感じている。 特に子供達の大切な命を守るため、最優先で道路の安全確保をお願いしたい。</p>	
<p>◆南エリアの給食センターについて、整備にあたり今後検討をしてほしい。 車両出入り口周辺道路は住宅街で道幅が狭いので、大型車両含めて交通量が増すと車と歩行者・ベビーカー・車椅子等との事故が心配。安全な車両出入り口位置と周辺道路へ歩行者用ガードレールの整備を検討してほしい。</p>	
<p>◆全体的な方向は歓迎している。 給食は選ぶことができないので、安全な食であるためにも、なるべく無農薬栽培の野菜を使用してほしい。 新規就農した人の野菜も給食に取り入れるなどして、農の後継者を市民が支えていく姿勢が必要であり、農</p>	<p>給食で使用する食材については、原則として国内産の食材を使用することや、低農薬の食材を使用することなど、市が定める食材の購入基準に則り、安全・安心な食材を使用してまいります。 また、学校給食における地場産野</p>

<p>家との密なやりとりを行い、良い給食を提供できるようにするなど、栄養士の先生や、調理をする事業者の意識教育も必要。町田の里山整備と給食を絡めて、山菜を給食に取り入れていけると面白い。食味の良いものばかりではなく、身近な植物を食べ慣れる事により、自然の恵みをより感じ、郷土愛を育む事に繋がる。</p>	<p>菜の活用は、子どもたちが新鮮な野菜を摂取できるとともに、地域農業の活性化にもつながる大変重要な取組だと認識しております。引き続き、安全で安心できる食材の使用に努めてまいります。</p>
<p>◆無農薬や自然栽培や有機栽培、無添加など、安心安全な食材での給食を希望する。フードロスが無いよう、上手く食材を利用できるような仕組み作りをお願いしたい。ロスが出た際の寄付などもできると良い。</p>	
<p>◆通っている小学校では無農薬野菜を多く使っている。中学校もぜひ無農薬野菜を多く取り入れて欲しい。</p>	
<p>◆ぜひ国産の有機野菜、無農薬野菜、化学調味料無添加、地産地消の給食作りを掲げていただきたい。家庭で食の安全に気をつけているが、給食では食材や調味料などどこまで健康に対しての気遣いがされているか全く不透明なのが現状。市としてオーガニック食材の推進を給食から進めてもらえれば、他市子育て世代への大きなアピールにもなるかと思う。給食で活用されれば市民の生活にも少しずつ浸透してくるのではないか。</p>	
<p>◆野菜の地産地消、農薬の使用状況はどうなのか。</p>	
<p>◆調味料は、無添加のものを使って欲しい。マーガリンなどのトランス脂肪酸も止めて欲しい。小学校の給</p>	<p>給食で使用する食材については、原則として国内産の食材を使用することや、低農薬の食材を使用するこ</p>

<p>食にはマーガリンが使用されているので、この機会に中止にして欲しい。小学校の給食献立表を見ると、毎回砂糖が入っているのが気になる。素材の甘味をいかしたものをこどもたちには食べさせたい。何でも砂糖で甘く味付けは止めて欲しい。これを機に小学校給食の中身も再考して欲しい。</p>	<p>となど、市が定める食材の購入基準に則り、安全・安心な食材を使用してみたい。</p>
<p>◆給食の食材は、減農薬とのことだが、それに対する明確な基準がないのが心配。米、加工品、調味料、お肉やお魚に関しても同じで。町田基準の給食ができると良いと思う。</p>	<p>学校給食における地場産野菜の活用は、子どもたちが新鮮な野菜を摂取できるとともに、地域農業の活性化にもつながる大変重要な取組だと認識しております。</p> <p>ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆学校給食で地産地消を積極的に行える給食システムの構築を希望する。都内でも自然や畑の多い町田だからこそ、給食を通じて都市部のモデルとなるような SDGs や食育の取り組みができるのではないかと期待している。農家を取りまとめるコーディネート者の必要性（農協や NPO 化が行う）など、農家さん個人に負担のかかりすぎないシステムが必要ではないか。このような問題の解決により、学校給食での地産地消がより進められるのではと感じている。まちベジ野菜の日がどんどん増えてほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆みどりの食料システム戦略を意識した学校給食の仕組みづくりを希望する。農林水産省で進めているみどりの食料システム戦略では SDGs などの観点からの地産地消の促進や、日本の有機農業の取り組み面積の割合を 2050 年までに 25% に拡大など</p>	<p>ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>

<p>の使用があるかと思う。近年、全国的にオーガニック給食への転換も各地で進められている。町田の農家さんが有機農業へシフトしていけるノウハウを身につけることができ、学校給食にその受け入れの準備ができていけば、現行の農業から有機農業へシフトしてみても良いと思える農家さんが増えるのではないか。</p>	
<p>◆調味料に拘る必要はないと思うが、一般的にファミレスなどで食べる味覚が望ましいと思う。確保した食材が無駄にならないようお願いしたい。</p>	<p>素材を活かし、食材が持つ本来の味を生かすなど、美味しく仕上がる調理方法とし、生徒たちにとって給食が日々の楽しみや学びにつながる献立としてまいります。</p>
<p>◆まちベジでも、朝の納品時間や、野菜の規格が厳しい。泥付き野菜は調理現場で洗浄が行き届かず、嫌がられる。納入について町田市からの支援をお願いしたい。農協さんばかりで、小規模農家の方が参画できないのではもったいない。</p>	<p>地場産野菜の活用には、出来るだけ多くの生産者の皆様にご協力いただけるよう、生産者の方々が安心して生産でき、かつ、納品する際も生産者の方々の負担が出来るだけ少なくなる方法を検討してまいります。</p>
<p>◆牛乳の提供を止めて欲しい。ご飯と牛乳は合わない。アレルギーや乳糖不耐性の人もある。カルシウムが足らなければ野菜など他の食品で補うべき。発酵乳、ブドウ糖果糖液糖の甘過ぎる飲み物は止めて欲しい。</p>	<p>牛乳については、成長期に必要なカルシウムを効率よく摂取できるものであると考えております。</p> <p>牛乳の容器については、町田市の小中学校の必要量をビン牛乳で安定的に供給できる事業者が、現時点で見つかっておりません。今後とも、環境に配慮して牛乳を提供できる方法を研究してまいります。</p>
<p>◆牛乳については、各家庭の考えがはっきり分かれる食品なので、無駄な廃棄を増やさないためにも、選択制にしたら良いと思う。なるべく瓶牛乳を採用する事で、環境意識を育む機会になると思う。</p>	
<p>◆高齢者にとっても給食センターが、暮らしに欠かせない場所として活用できることを喜ばしく思う。災</p>	

<p>害への備えなどの内容が盛り込まれていること、町田市学校給食問題協議会の答申が織り込まれていることがわかった。</p> <p>中学校給食のスタートは、暮らしに直面する持続可能な循環型社会の構築に向けた環境教育の向上にもつながる絶好のチャンスである。食材や食器の洗浄剤についても「食と環境」の生きた学習の場となるよう取り組み、牛乳容器については紙パックから“びん容器”への転換を検討していただきたい。</p>	
<p>◆食器の洗浄は石けんを使用して欲しい。</p>	<p>食器の洗浄については、洗い残しなく、確実に汚れを落とせる洗浄設備・手法を採用するとともに、人体や環境にやさしい洗浄剤を可能な限り使用してまいります。</p>
<p>◆出来る限りのアレルギー対応（小学校と同じ体制）をしていただきたい。栄養士さんと保護者のあいだで柔軟な対応をしてもらえると良い。</p>	<p>食物アレルギーの対応については、アレルギー専用の献立を作成するなど、食物アレルギーがあっても、安全で美味しく栄養満点の給食を毎日食べることができるようにしてまいります。また、給食センターでは、食材の搬入から調理、容器の洗浄まですべての作業で、通常食の作業と混線しない動線計画を検討します。</p>
<p>◆アレルギー持ちのお子さんへ、小学校同様のアレルギー対策をお願いしたい。ラインを分けて、保護者への内覧会も土日含め実施してほしい。</p>	<p>保護者の皆様への内覧会実施については、今後、検討いたします。</p>
<p>◆給食センターでは、複数人の異なるアレルギーに対応することは困難ではないか。</p>	
<p>◆栄養教諭を導入してほしい。町田市の食育はすごい！と他自治体に一目置かれるようになってほしい。</p>	<p>栄養教諭は、東京都の基準に基づいて配置されます。</p> <p>中学校全員給食に際しては、栄養教諭の配置の有無にかかわらず、給食センターの栄養士が各中学校に頻繁に赴いて、生徒の喫食状況を確認</p>
<p>◆給食センターと各学校の連携や、生徒・保護者とのコミュニケーションが取れるよう各校への栄養士の配</p>	

置を希望する。	するとともに、給食を「生きた教材」として活用した多彩な食育に取り組んでまいります。
◆給食センターで働く栄養士、調理員は食べる子どもたちの顔が見えないため、やりがいを感じられないのではないかと。	
◆給食が教育に活かされるには、給食の献立が教材(教科書)になることが必要。全体に影響するのが献立であり、栄養職員の力は大きいと思う。	
◆農業体験など、小学校給食で行っている食育体験を実施してほしい。	生徒たちと生産者や調理員などとの交流や、食育や環境教育などに多角的に取り組むことで、つくり手の「温もり」を実感しながら食することを習慣づけ、食べ残しの削減などにもつなげてまいります。
◆小学校のように、地産地消の食材に触れたり、授業で食に感謝する授業を設けてほしい。	
◆給食は2献立からの選択方式が好ましい。選択することで食に関心を持ち、自分の体の健康に目を向ける機会になるうえに、食料の生産等について、正しく理解できると考えたためである。「食べない自由」も選択できることや、各々の生徒がより食べやすいメニューを選べるのではないかと。学校給食は、明るい社交性及び協同の精神を養う目的があり、複数献立からの選択では、この目的から外れてしまうと捉えられる。他自治体を参考にすれば2献立実施は可能ではないかと。安全・安心かつ教育力のある学校給食の提供をお願いしたい。	給食センターの調理食数は最大5千食程度であり、調理上の安全性確保の観点からも1献立制が適切であると考えております。 なお、2献立制は、調理場内で2種類の調理を同時に行うことで、一方の食材が他方の調理物に混入する恐れがあり、食物アレルギーのある方にとっては大きなリスクとなると考えます。 学校給食を通じた「食を正しく選び取る力」の醸成は重要であると認識しており、給食を“生きた食材”として活用した多彩な食育に取り組んでまいります。
◆配膳室から教室までが遠い。1年生がいちばん遠い教室になるなど、気の毒。他にもエレベーターが設置されていない学校へ配備してほしい。	2021年5月に策定した「町田市立学校個別施設計画(学校整備計画編)」に基づき、全員給食の実施までに、各中学校におけるバリアフリー化工事を進める予定です。

	<p>また、新たな学校づくりを控えて、エレベーターを設置する予定のない学校においても、配膳スタッフが教室のある各階まで食器・食缶を運ぶものとし、生徒・学校の負担軽減を図ります。</p>
<p>◆せっかくの給食なので温かい食事が出来たらと思う。</p>	<p>温度管理のできる「断熱食缶」を使用することで「温かいものは温かく冷たいものは冷たい」適温の状態、給食を提供できるようにします。</p>
<p>◆野菜の規格に制限されにくい厨房機器の導入を希望する。地産地消を促進する上で、農家ができるだけ規格に対してストレスなく取り組むことができれば、さらに地域連携や農業の活性化に繋がると考える。子供達が地元の食材や・安心安全な食材を口にできるよう、厨房機器の選択は重要だと考える。</p>	<p>ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆給食センターから各校へ配送に遅延があった場合の対応方法を知りたい。</p>	<p>給食を食べられないことのないように、状況に応じて運営事業者、各学校と調整してまいります。</p>
<p>◆東京都では強化陶磁器が主流ではないか。壊れるものを大切にする教育が必要だと思う。</p>	<p>町田市では、2016年1月の第11期町田市学校給食問題協議会の答申に基づき、「安全性」「利便性」「食育」の3つの視点を備えたPEN食器の使用を進めています。中学校全員給食においても、PEN食器の使用を予定します。</p>
<p>◆中学校でも温かい給食が開始されること、嬉しく思う。センターに多様な機能を持たせるとのことだが、子どもの食事のを中心に運営されることを願う。 まだ温かい給食が実施できていない隣の相模原市との連携事業等も検討</p>	<p>ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>

いただけると嬉しい。	
◆給食になったら、個人差があると思うがお弁当よりご飯の量を増やしてほしい。	ごはんの量については、文部科学省の学校給食実施基準において定められたエネルギー量を満たす量を提供しています。

(4) めざす姿②「地域とつながりあい 新しい価値を生み出しつづける」
について

[中学校給食センター整備に関する基本的な考え方 P6に関すること]

ご意見	市の考え方
<p>◆地域防災の拠点機能も併せ持つ計画であるそうなので雨水貯水池の再整備も含めて、たいへん期待している。人口比と人口構成を考えると公共施設の少なさに不安を覚える。公共交通網から見放された地区なので、防災機能を持つ施設を歓迎する。</p>	<p>災害時においても、食の面から地域を支える施設としてまいります。 運営事業者が主導的に、災害発生後に素早く、各機能の継続・復旧ができる体制を整えるとともに、迅速に地域の方に食料や物資を支給、炊き出し活動を行うなど、地域と連携しながら、食の面で地域の災害対応の一翼を担ってまいります。</p>
<p>◆災害時に地域へ食の提供ができるなど、学校以外にも役立つと思う。</p>	
<p>◆給食センターでは、施設規模が大きいため、炊き出し等の対応に時間がかかるのではないかと。小規模な方がよいのではないかと。</p>	
<p>◆災害時の給食センターの利用方法について詳細が決まっていれば、町田市ホームページの保健給食課の箇所だけでなく防災のページにもリンクをつけてほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、参考にさせていただきます。</p>
<p>◆長期休業中の学童への給食提供を是非実現をお願いしたい。 現在通っている学童では、父母会による注文弁当が利用できるが、量の調整や当日キャンセル不可、注文管理などに伴う父母会の負担など課題があり、利用者は半数程度である。 23区の自治体でもあまり実現していないことだと思っているので、町田市が先進的な取り組みとして、是非長期休業中の学童給食導入をしていただきたい。</p>	<p>長期休業中の学童保育クラブへの給食提供に関しては、これまでも多くのご要望をいただいております。他市給食センターで取り組み始めた事例もあります。 今後、給食センター運営事業者からの事業提案等を受けながら、実施可能性について検討してまいります。</p>
<p>◆長期休暇中の学童への給食配送を</p>	

<p>実現してほしい。町田市の保護者の就労支援にも繋がる。就労者が増えれば税収が増え、町田市が潤う。</p>	
<p>◆長期休暇中の食べられる場所やテイクアウトがあると有難い。成長期に食べる物がないのはかわいそう。</p>	<p>ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆地域の健康増進の具体的な取り組みの〔アイデア例〕から“近隣へ給食をお届け”は、本当に待っていた市民への行政サービスの一つである。また、地域防災機能など暮らしに欠かせない場所として活用できるのは喜ばしい。</p>	<p>ご理解いただき、ありがとうございます。ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆・安心安全で美味しい給食。 ・町田の野菜を多く使用。 ・会議、サークル活動などに使用できる用 ・子ども食堂的な役割が持てる施設 ・コンビニの併設 ・災害時の避難所 ゲートボールとテニスの皆さんが動いた事が無駄にならない様をお願いします。</p>	<p>鶴川地区における中学校給食センターについては、グラウンドで行われる地域のスポーツや催しとの連携を深め、地域交流の拠点性を高めることを目指してまいります。 ご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆中学校給食センターを障害者の雇用の場にして、障がい者も高齢者も働く人も子ども達も、みんながつながることができる場所にしていただきたい。障害者が住み慣れた地域で暮らし働いていくためにも、働く場所や環境を作っていくことが必要になる。給食センターでは、野菜を洗う、切る、分けるなどいろいろと作業があり、支援があれば障害のある人も働けると思う。障がい福祉課と連携していただき、先進的な取り組みとして検討してほしい。</p>	<p>中学校給食センターが、広く地域雇用の機会となるよう、事業者に働きかけてまいります。</p>

<p>◆地元の高齢者や障がい者に雇用を生み出す場になることを願う。</p>	
<p>◆東光寺公園の3本の桜の大木や紅葉の木がなくなってしまうのが残念。新しく整備する公園では、木が大きく育つような植栽と、散歩する地元民のための雨を避ける簡単な屋根がついた休憩ベンチ、トイレがあると、利用する方に喜ばれると思う。</p>	<p>東光寺公園では、給食センター整備に合わせて公園開放部分の再配置と再整備を行う予定です。 ご意見を踏まえて地域の皆様が快適に利用できる環境になるよう取り組んでまいります。</p>
<p>◆東光寺公園をもっと使いやすく整備して欲しい。キッチン付多目的スペースを近隣の住民も気軽に使えるようにして欲しい。</p>	
<p>◆東光寺公園の調整池と下水処理場との間の人道を舗装・外灯を整備して迂回路として使用できるように検討してほしい。</p>	
<p>◆東光寺公園の移動先は、安全で見通しの良い環境を考慮した配置の検討をしてほしい。</p>	
<p>◆金井スポーツ広場北口周辺および金井川南側そして広場北側には、桜の古木が見事な並木があるが、是非残していただきたい。小学校が移転した際にも子供達にとってかけがえのない良い環境を与えることになると思う。</p>	<p>整備に関するご意見の趣旨については、今後の事業検討の参考にさせていただきます。</p>
<p>◆一般の方が自由に給食センターを出入りできるということは、何か薬品や不純物が混入するという事件はおきかないのか不安。</p>	<p>一般の方が調理エリアなどに立ち入ることがないように、施設の衛生・安全管理を徹底してまいります。</p>

(5) 給食センター整備の進め方について

[中学校給食センター整備に関する基本的な考え方 P7に関すること]

ご意見	市の考え方
<p>◆町田市に引っ越してきて、中学校が自校式給食ではないことに驚いた。他自治体との地域差が解消されるのは良い。出来れば1学期でも早く繰り上げて始めてあげて欲しい。</p>	<p>2025年度までに3箇所[※]の給食センターを稼働し、全員給食を開始できるように、スピード感をもって取り組んでまいります。</p>
<p>◆できれば親子方式や小さいセンターにし、一日でも早く温かい給食を子どもに届けてほしい。</p>	
<p>◆センターは工期が長いイメージがある。工期を短くお願いしたい。</p>	
<p>◆各給食センター、稼働時期がバラバラなのだがここを統一はできないのだろうか。</p>	<p>稼働時期については、出来る限り早期に、また地域間の差を可能な限り少なくするべきと考え、検討いたしました。しかし、各計画地の状況等が異なることから、工期等を統一することが難しい状況です。</p> <p>2025年度までに全員給食を開始できるように、スピード感をもって取り組んでまいります。</p>
<p>◆近年集中雨量が増えてきている、東光寺公園調整池の改修工事は容量を減らさず、将来を鑑みて増やす方向で検討をしてほしい。</p>	<p>東光寺公園調整池の地下化工事に際しては、公共下水管理者と協議をしながら、安全な雨水対策を講じてまいります。</p>
<p>◆金井スポーツ広場の給食センターのは、どのような建物が建てられるのか。</p>	<p>鶴川地区給食センターは、最大食数3千食を調理できる施設規模を想定しています。詳細な規模・構造等については、事業者からの提案を踏まえて決定します。</p>
<p>◆金井スポーツ広場のセンターは暫定設置だが、この費用はだれが負担するのか？ 給食化自体は子供の心身の発達にとって良いことと思わるが、町田市と</p>	<p>鶴川地区給食センターは稼働後10年程度の利用を予定しています。</p> <p>本市としてもコスト抑制は大きな課題であると認識しており、設計施工と維持管理を一元化したリース方</p>

<p>して子ども達の健康と安全を守るための課題が山積し、財政逼迫する中、かなりアンバランスではないか？</p>	<p>式を採用して整備コストを低減するなど、施設の整備・運営にあたってコストを抑えるために引き続き様々な工夫を検討してまいります。</p>
<p>◆2024年ごろ中学生になる学年の子、親に向けて試食会を実施して欲しい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、今後の参考にさせていただきます。</p>

(6) その他給食センターに関連するご意見

ご意見	市の考え方
<p>◆金井スポーツ広場について、スポーツ振興と厚生施策を、市の組織を超えた協議がされるよう望む。</p>	<p>引き続き、文化スポーツ振興部と連携しながら進めてまいります。</p>
<p>◆現行給食の配膳（エレベーター設置）と喫食時間について、少しでも改善をお願いしたい。給食時間が短い中、配膳室まで取りに行き、返却するまで 20 分以内でこなすことが可能かどうか、実験をお願いしたい。</p> <p>そのうえで、生徒の負担がある、喫食率が上がらない、早食いや残食につながり食育といえないなどあれば、エレベーターを少しでも早いうちに設置をしてほしい。</p> <p>エレベーター設置予定がない学校についても、全員給食になる前に、遠くの配膳室まで取りに行かない工夫を検討してほしい。</p> <p>昼食時間を少しでもいいので延ばしてほしい。今給食を食べている生徒、全員給食になる前から給食を利用したい家庭への十分な配慮と、スムーズな全員給食移行をお願いしたい。</p>	<p>全員給食の実施に合わせて、エレベーター設置、及び給食時間の調整を進めてまいります。現行の給食においても、適切な給食時間を確保するなど、引き続き改善に努めてまいります。</p>
<p>◆今中学生の子どもたちが欠食したり、肩身の狭い思いをしたりすることがないように、今あるランチボックス形式の給食の改善も引き続きしてほしい。</p>	<p>現在のランチボックス形式の給食についても、魅力的な給食を提供し、利用しやすい環境となるよう改善に取り組んでまいります。</p>